

2頁	1行目	「現代假名遣」の「遣」の箇所が原本では、「道」となっていた。誤植と思われるので、訂正した。
3頁	5行目	〔假名で言葉〕の箇所が原本には始めの「（カッコ）が無い。誤植ではないかと思うので、「」を付け加えた。
4頁	8行目	「現代假名遣」の「假」の箇所が原本では、「遣」となっていた。誤植と思われるので、「假」訂正した。
11頁	6行目	「バカバカしき」の箇所の二つ目の「バカ」は、原本では繰り返し記号の「く」が使われている。
22頁	3行目	「取り去ってくれる」の箇所が原本は「く」が無い。経年劣化と思われる。
23頁	3行目	「消すことは、かうい」の箇所が原本は「消すこと、はかうい」となっており、誤植と思われる。
23頁	1行目	「いふか。一體國語教育」の箇所が原本は「」が無く空白。経年劣化と思われる。
24頁	7行目	三首とも源実朝（みなもと さねとも）の歌。
27頁	4行目	「高山にのぼり」…若山牧水（わかやま ぼくすい）の歌。
27頁	7行目	迂曲波瀾（うきよくはらん） 意味…「迂曲」は、うねり曲がること。「波瀾」は、激しい変化や曲折のあること。また、そうした事態。
32頁	3行目	「わが心に懈怠あり」…島木赤彦（しまぎ あかひこ）
34頁	4行目	「思われても」の箇所、原本は（1）の数字が空白であった。誤植と思われる。
37頁	9行目	テオキ 意味…手置（ておき）

45頁10行目

「自覺すべきである」の箇所、原本は「き」が無い。誤植と思われる。

46頁3行目

「きはれもの で通つて」の箇所、空白は原本通り。